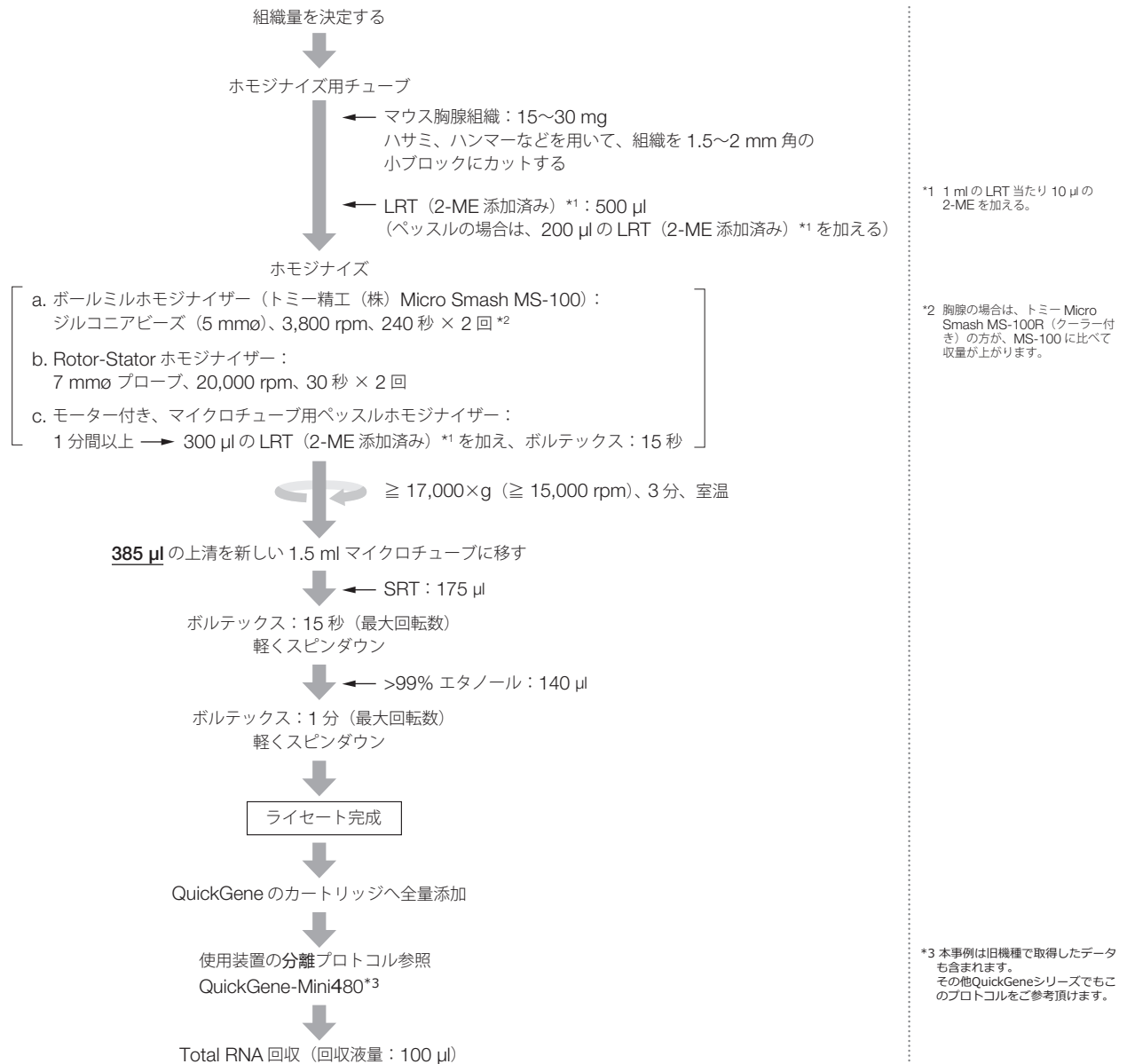
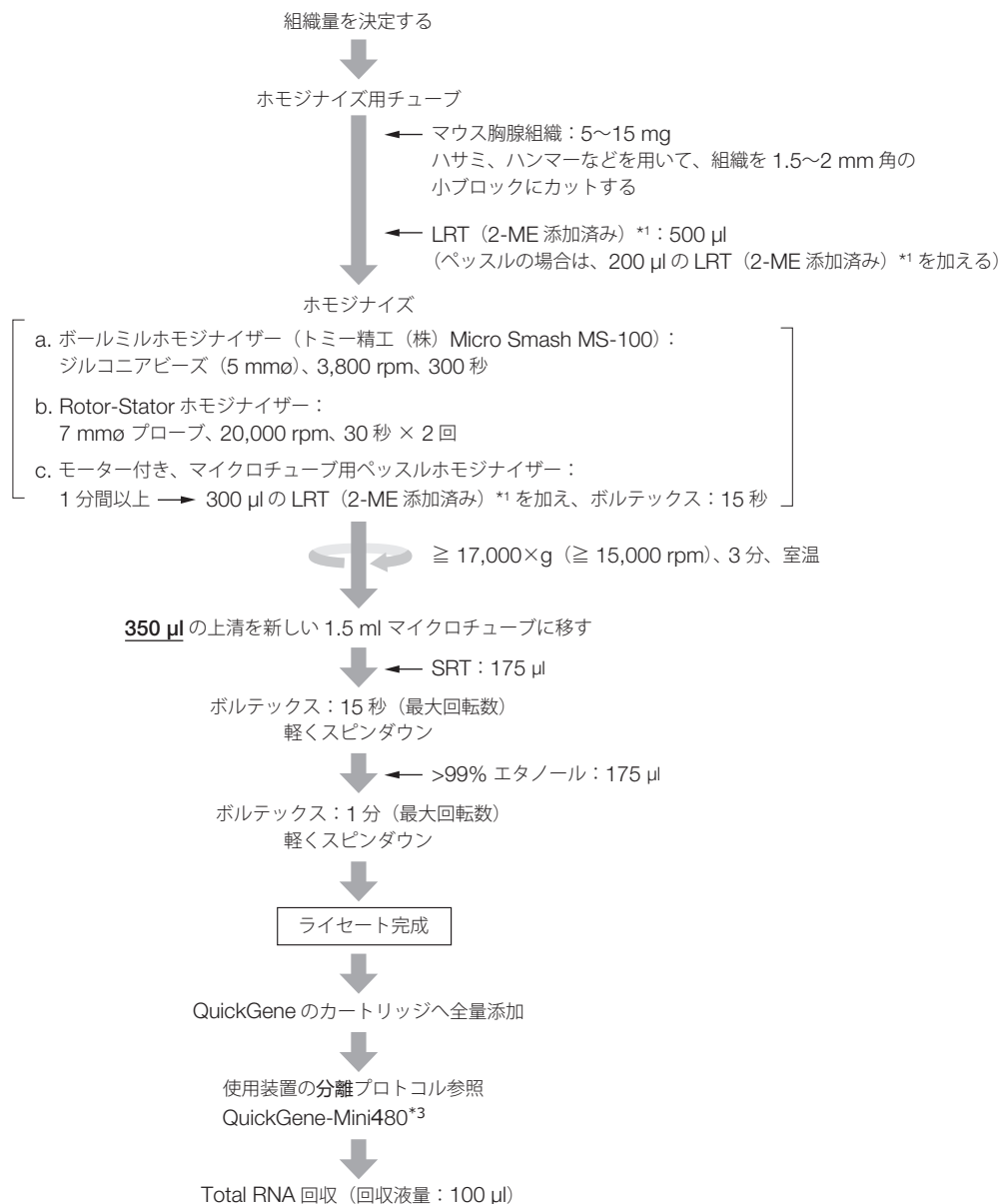


# マウス胸腺からの total RNA分離

## プロトコル 1 (15-30 mg)



## プロトコル 2 (5-15 mg)



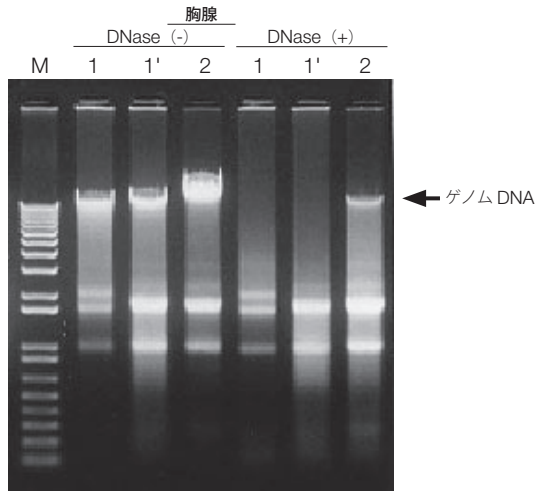
\*1 1 ml の LRT 当たり 10  $\mu$ l の 2-ME を加える。

\*3 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

## 結果

### 電気泳動図

Total RNA で非変性アガロースゲル電気泳動を行った。  
電気泳動条件：1% アガロース / 1 × TAE



M：マーカー (1 kb PLUS DNA Ladder：Invitrogen)  
1：QuickGene (MS-100 使用)  
1'：QuickGene (MS-100R (クーラー付き) 使用)  
2：競合 A キット (スピнкаラム法)

胸腺などに対して、QuickGene システムで、競合 A キット (スピнкаラム法) の場合よりもゲノム DNA 混入の少ない total RNA の分離ができる。

### Total RNA の収量

組織	ボールミルホモジナイザー (MS-100)			Rotor-Stator ホモジナイザー		
	組織の量	DNase (+)	DNase (-)	組織の量	DNase (+)	DNase (-)
胸腺	30 mg	43 µg	27 µg	5 mg	19 µg	17 µg

### タンパク質の混入：A260/280

組織	組織の量	A260/280	
		DNase (+)	DNase (-)
胸腺	30 mg	2.17	2.17

### カオトロピック塩の混入：A260/230

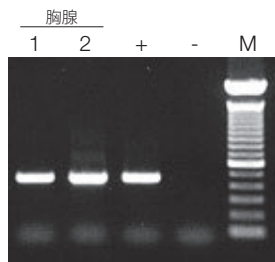
組織	組織の量	A260/230	
		DNase (+)	DNase (-)
胸腺	30 mg	2.15	2.17

### その他

#### • RT-PCR

Total RNA で RT-PCR を行った。

< RT 反応条件 >  
 テンプレート：マウス胸腺からの total RNA (DNase 処理あり) 500 ng  
 酵素：SuperScript II (Invitrogen)  
 < PCR 条件 >  
 テンプレート：Total RNA (10 pg/µl) 相当量の cDNA  
 プライマー：G3PDH プライマー  
 酵素：Takara Taq Hot Start Version (TaKaRa)  
 < 電気泳動条件 >  
 1% アガロース / 1 × TAE



M：マーカー (100 bp DNA Ladder：Invitrogen)  
 1：QuickGene  
 2：競合 A キット (スピнкаラム法)  
 +：ポジティブコントロール (mLiver RNA：Clontech)  
 -：ネガティブコントロール (RNase-free water)

## 共通プロトコルサンプル

データなし